

45 地域活動の活性化と多文化共生社会の実現

(1) 区民の自主的な活動を尊重した 支援と連携

●町会・自治会の活動支援

区内には252の町会・自治会があり、区政の最大のパートナーとして、行政情報の周知や公設掲示板等の管理など幅広く区の事業に協力している。防犯・防災対策、環境保全対策、住民同士の交流など、さまざまな活動を通じて、まちの安全・安心に貢献している。

また、区全体の町会・自治会の連絡調整を図るため、町会連合会がある。町会連合会では、区内の17地域に支部組織を設置し、区との意見交換や町会・自治会同士の情報交換を行っている。

区は、町会・自治会の活動の支援として、加入促進パンフレットの作成・配布、ホームページの開設・運用、活動費の補助、活動保険への加入、町会掲示板や会館の建替えや修繕等に対する補助を行っている。

●地域活動団体の支援

区民の自主的な地域活動を支援するため、情報紙「ねりま地域活動ニュース」の発行（毎月1回）、ホームページの運用、団体の活動を紹介するパネル展等を行っている。

また、地域活動団体が集まり、活動の魅力の紹介や団体同士の交流を促進するため、「練馬つながるフェスタ」（来場者約2,300人・参加団体65団体）を開催している。

●区民協働交流センター

公益的な活動の支援と協働を推進するため、地域活動に関する相談に応じるとともに、活動の場、情報発信・収集の場を提供している。

〔利用状況〕

・相談数	181件
・情報コーナー利用数	1,087件
・作業コーナー利用数	3,518件
・交流コーナー利用者数	18,511人

●相談情報ひろば

身近な地域の日常生活上の相談窓口、地域情報などの提供、住民同士の交流の場として、10か所で開設している。町会・自治会やNPO等の地域活動団体が、それぞれ特性を活かして運営しており、区が補助を行っている。

●地域情報コーナー

町会・自治会や地域活動団体のイベント情報の発信の場として、地区区民館、地域集会所等17か所に地域情報コーナーを設置している（利用件数273件）。

●地域おこしプロジェクト

区民の自由な発想により、未来に向けた練馬の発展につながる取組を区との協働により支援し実施する事業で、区独立70周年記念事業として29年度より開始した。選定した事業には、年度当たり最大100万円の補助金を交付するほか、区の若手職員をプロジェクト推進担当として配置し、各団体の事業実施をサポートする。

30年度は前年度からの継続3事業に加え、新たに「食農文化のまち練馬～ALL練馬でワインづくり～（団体名：ねりまワインプロジェクト）」、「くしもねり・かわら版>みんなで創るよ！宿場の絆！！（団体名：ノースファミリー実行委員会）」の2事業が選定され、計5事業となった。

なお、29年度採択の「地域共生社会の高齢者支援におけるコンビニエンスストアとの協働モデルの構築（団体名：ねりまコンビニ協働プロジェクト）」および「ダイバーシティ発信基地I（アイ）LDK（団体名：NPO法人障がい児・者の学びを保障する会）」は、2年間の活動の中で当初設定した目標を達成したことから、30年度をもって地域おこしプロジェクトとしての活動を終了した。

●協働ワークショップ

区民参加と協働の取組が持続的に発展していくために、区民や団体同士が対話をしながら信頼関係を醸成する、協働ワークショップ事業を実施した。30年5月に町会や自治会の有志で構成される町会・自治会のあり方検討会議を設置し、会議を6回開催、23区で初めて町会・自治会が主体的に活動事例をまとめた「練馬区 これからの町会・自治会運営のヒント集」を発行した。また、町会・自治会とNPO・ボランティア団体が、協働のイメージを具体化する「練馬つながる会議」を2回開催した。

●地区祭補助事業

青少年育成地区委員会、町会・自治会等地域のさまざまな団体を母体として組織された地区祭実行委員会に対して補助を行っている。

〔地区区民館利用状況〕

(単位：延べ人) 30年度

施設名	個人利用						団体利用	計
	児童利用	高齢者利用	一般利用	学童クラブ	びよびよ	個人利用計		
豊玉北	16,713	5,697	386	10,877	—	33,673	41,935	75,608
桜台	24,192	3,580	1,164	11,484	—	40,420	50,578	90,998
貫井	26,077	5,014	98	11,745	—	42,934	71,965	114,899
氷川台	26,339	4,310	540	9,640	—	40,829	43,560	84,389
早宮	13,778	5,075	400	—	—	19,253	35,829	55,082
春日町南	24,621	8,237	2,208	—	16,383	51,449	42,291	93,740
高松	10,293	1,370	437	5,910	—	18,010	12,585	30,595
北町	11,659	3,404	1,371	—	—	16,434	62,095	78,529
北町第二(※1)	994	279	55	—	—	1,328	3,387	4,715
田柄	15,444	5,723	1,477	7,107	7,144	36,895	43,829	80,724
光が丘(※2)	12,381	4,086	1,014	—	—	17,481	62,833	80,314
旭町南(※2)	17,296	20,039	28,604	—	—	65,939	96,735	162,674
旭町北	9,282	4,300	79	—	—	13,661	34,679	48,340
富士見台	15,844	6,447	627	—	—	22,918	42,583	65,501
下石神井	15,102	2,147	1,688	10,246	—	29,183	37,743	66,926
立野	6,856	3,058	208	—	11,167	21,289	43,735	65,024
関町北	25,417	3,572	1,039	9,206	—	39,234	57,233	96,467
東大泉	18,602	4,660	1,412	9,085	—	33,759	77,266	111,025
西大泉	19,738	4,314	837	7,828	—	32,717	54,251	86,968
南大泉	15,491	4,745	2,323	—	—	22,559	66,605	89,164
北大泉	13,224	5,026	505	6,516	—	25,271	38,981	64,252
大泉学園	14,383	3,165	593	9,212	—	27,353	26,945	54,298
計	353,726	108,248	47,065	108,856	34,694	652,589	1,047,643	1,700,232

※1：北町第二地区区民館は、30年5月から31年3月まで工事のため休館

※2：旭町南地区区民館の一般利用・団体利用の数値と光が丘地区区民館の団体利用の数値は、特別施設利用者数を含む。

30年度に補助を行った地区祭は17地区30会場で、77,120人が参加した。

(2) 地域活動を支える機会・場の充実を行う

●活動と交流の場の提供

1 地区区民館

地域住民の相互交流や自主活動を促進し、子どもから高齢者までが利用できる施設として、現在22館を開設している。

運営は、区民参加と協働の観点から、地域住民で構成する運営委員会に順次委託を進め、24年度までに全ての館で委託を完了した。

今後は、「練馬区公共施設等総合管理計画」に基づき、これまで以上に世代にとらわれず広く地域の区民が交流できるよう機能の転換を図るとともに、エレベーターの設置などバリアフリー化を進めていく。

地区区民館の各種事業については、館だよりやホームページ等で情報発信している。

2 地域集会所

地域住民の相互交流および自主的活動の場を提供する身近な集会施設である。21年度からは出張所併設の区民館を地域集会所に移行し、29年3月までに27か所を開設した。29年4月に練馬高野台駅前地域集会所、同年8月に豊玉地域集会所を開設し、29か所となった。

運営は、設置当初から、地域住民で構成する管理運営委員会に委託している。また、区民館から移行した地域集会所については、事業者運営を委託している。

今後は、「練馬区公共施設等総合管理計画」に基づき、地区区民館等類似施設とあわせて再編し、新たな地域施設の機能の一つとして将来的におおむね中学校区に1か所程度の配置とすることを目指す。この考え方にに基づき、単独の地域集会所については、周辺の学校や区立施設の改築にあわせて複合化を検討し、稼働率の低い施設については、周辺施設との統合も含めて検討する。これらの再編にあわせて、地域の区民との協働による今後の運営のあり方も検討していく。

なお、地域集会所の利用状況は、190ページの表のとおりである。

〔地域集会所利用状況〕

30年度

施設名	利用件数(件)	利用者数(延べ人)
石神井台	2,453	25,255
上石神井北	2,774	16,618
南田中	1,596	13,293
谷原	1,394	18,225
旭丘	2,327	21,771
中村	3,002	34,190
向山	3,127	14,098
土支田	2,995	17,427
大泉町	2,266	12,244
高野台	3,948	24,671
大泉学園町	2,104	13,055
三原台	2,481	16,223
北町	2,036	12,121
東大泉	2,642	16,112
小竹	2,127	15,214
石神井台みどり	2,775	17,349
関町	2,544	17,536
桜台	3,880	20,330
早宮	3,086	22,113
春日町	2,487	21,127
土支田中央	1,928	19,848
旭町	857	5,193
田柄	1,880	19,876
上石神井南	3,503	30,438
東大泉中央	3,496	21,808
南大泉	1,938	17,112
大泉北	1,962	15,192
練馬高野台駅前	1,167	13,148
豊玉	1,608	14,425
合計	70,383	526,012

3 区民ホール(光が丘、関)

区民文化の向上および区民相互の交流を図り、地域社会の健全な発展と福祉の増進に寄与することを目的とした施設である。管理運営は指定管理者に委託している。

なお、光が丘区民センター内の心身障害者福祉集会所は、心身障害者団体優先の施設であるが、空きがある場合は一般区民も利用できる。また、はつらつセンター光が丘および光が丘なかよし児童館については、本来利用のない夜間・日曜・祝休日にも一般区民が利用できる。

〔光が丘区民ホール等の利用状況〕

30年度

施設名	利用状況	
	利用件数(件)	利用者数(人)
光が丘区民ホール		
多目的ホール	886	41,861
集会室(1)	688	7,290
集会室(2)	635	8,076
集会室(1・2)(※1)	217	6,081
音楽室	791	13,176
美術工芸室	360	3,344
和室	264	2,135
会議室(1)	528	4,781
会議室(2)	717	9,583
小計	5,086	96,327
心身障害者福祉集会所(※2)	2,746	63,772
はつらつセンター光が丘(※3)	101	1,314
光が丘なかよし児童館(※4)	9	85
計	7,942	161,498

※1：集会室(1)(2)を合わせて使用

※2：心身障害者団体以外の利用件数

※3：平日午後5時30分以降と日曜・祝休日(敬老の日を除く。)の利用件数

※4：日曜・祝休日午後5時30分以降の利用件数

〔関区民ホール等の利用状況〕

30年度

施設名	利用状況	
	利用件数(件)	利用者数(人)
関区民ホール		
多目的ホール	646	28,278
リハーサル室	729	7,454
小計	1,375	35,732
はつらつセンター関(※1)	374	5,178
計	1,749	40,910

※1：平日午後5時30分以降と日曜・祝休日(敬老の日を除く。)の利用件数

4 地域活動倉庫

良好な地域社会の維持および形成に資する地域活動を支援するため、町会・自治会、商店会等が利用できる地域活動倉庫37区画(大1区画、中26区画、小10区画)を関越自動車道高架下に設置している。

5 地域交流ひろば

地域住民および地域団体の交流の推進を図るため、イベントなど多目的に利用できるひろば(400㎡×2面)を関越自動車道高架下に設置している。個人利用、団体利用(要予約)をすることができる。

〔地域交流ひろば利用状況〕

年度	個人利用（人）	団体利用	
		件数（件）	人数（人）
30	11,744	10	2,249

●区役所会議室の活用

区役所の会議室を区民相互交流の場として提供している。区内在住・在勤・在学者の団体が行う会議・研修会・講演会等に利用され、30年度は延べ1,248件の利用があった。

●指定保養施設助成事業

区民の健康増進と旅行を通じた交流、親睦を目的として、民間のホテルや旅館等25か所を保養施設に指定し、利用した区民に対し、宿泊料金の一部の補助を行っている。

補助金は年度内2回で、1回の利用につき2泊までを限度とし、利用者1人1泊につき大人3千円、3歳児～小学生2千円を支給している。

また、身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1・2度、精神障害者保健福祉手帳1・2級の人とその介助者には、一定額の補助金割増制度がある。

〔指定保養施設利用実績の推移〕

年度	利用人数（延べ人）	補助額（円）
26	28,136	89,481,439
27	28,031	89,133,049
28	26,465	84,473,547
29	24,526	78,475,626
30	23,019	73,901,185

●指定葬儀場使用料助成事業

区が指定した葬儀場で区民が通夜または葬儀を行った場合に、3万円を上限として会場使用料の一部を助成している。

〔指定葬儀場使用料助成金の推移〕

年度	助成件数（件）	助成金額（円）
26	1,502	44,629,500
27	1,438	42,807,480
28	1,628	48,244,740
29	1,654	48,812,400
30	1,607	47,627,560

(3) 各国文化の相互理解

●文化の相互理解と交流の促進

文化交流ひろばを拠点として交流会や各種講座を開催し、各国文化の相互理解を推進している。また、外国人区民が地域において穏やかな日常生活を送るとともに、区民同士が交流できるよう取組を進めている。

1 外国人区民への支援

(1) 外国語による相談窓口

毎週月～金曜日の午後、区役所本庁舎に外国語による相談窓口を設け、区の事業・文化・学習情報の提供や日常生活上の相談を受けている。（英語・中国語・韓国語・タガログ語）

※韓国語は金曜日、タガログ語は月曜日のみ

(2) 文化交流ひろば 情報コーナー

平日午前10時～午後1時、土・日・祝休日午後1～4時に、文化交流ひろば（光が丘）に情報コーナーを設け、各種の生活情報を多言語により提供している。（英語：火・木・土、中国語：水・金・日、韓国語：月）

(3) 初級日本語講座

「にほんごのきょうしつ」（4～7月、9～12月2講座）、「こども日本語教室」（原則学校休業期間を除く毎週土曜日）を開催した。

2 ボランティアの登録

区の窓口で日本語を母語としない外国人への通訳を行う通訳・翻訳ボランティアや、日本語講師のボランティアの登録を随時受け付けている。30年度末現在の登録者数は通訳・翻訳ボランティアが249人、日本語講師ボランティアが71人である。

3 相互理解・交流促進

(1) 外国人区民との交流

国際交流サロン（原則第4土曜日、7回）、国際交流のつどい（11月、1回）をそれぞれ開催した。

(2) 外国語講座

ロシア語講座（9～12月毎週木曜日、12日制）、外国語でよみきかせとてあそび（4～2月、英語8回、韓国語1回）をそれぞれ開催した。

(3) やさしい日本語研修

分かりやすい日本語によるスムーズな意思疎通を目指した研修を、区民と区職員を対象として実施した。

●海外友好都市等との交流

1 北京市^{かいでん}海淀区

年	動き
昭和 63 年	「都区市町村長訪中団（団長・練馬区長）」が北京市を訪問（交流開始）
平成 4 年	海淀区区長を招き「友好・協力交流に関する合意書」に調印
5 年	区民親善訪問団を海淀区へ派遣
14 年	・海淀区に桜を寄贈 ・「友好交流 10 周年記念写真展」開催 ・海淀区少年少女合唱団と練馬児童合唱団による合同演奏会を開催（友好交流 10 周年記念） ・区長が海淀区を訪問し「友好・協力交流に関する合意書」に調印
19 年	・「練馬区・北京市海淀区友好文化交流展」開催 ・「友好交流 15 周年記念写真展」開催 ・区議会代表団が海淀区を訪問
20 年	海淀区から贈られた記念碑（友好交流 15 周年・練馬区独立 60 周年記念）を区役所本庁舎正面玄関に設置
24 年	・海淀区少年少女合唱団と練馬児童合唱団による合同演奏会を開催（友好交流 20 周年記念） ・練馬区スポーツ交流団（14 人）を海淀区へ派遣
28 年	北京市青少年キャラバン訪日団が練馬区を訪問、中学生と交流
29 年	練馬区独立 70 周年記念式典参列のため、北京市海淀区代表団が練馬区を訪問
30 年	・練馬区長・区議会代表団が北京市海淀区を訪問 ・北京市海淀区代表団が練馬区を訪問

（北京市海淀区^{いわえん}頤和園）



ユネスコの世界遺産に登録されている庭園公園

2 イプスウィッチ市

年	動き
昭和 63 年	練馬区国際交流友好都市提携調査団がオーストラリアを訪問（交流開始）
平成 5 年	区立中学校生徒のイプスウィッチ市への派遣を開始
6 年	イプスウィッチ市長を招き「友好都市提携に関する合意書」に調印
13 年	イプスウィッチ市に友好のシンボル「ネリマガーデン」が開園し、区長、区議会議長が開園式に出席
16 年	区長がイプスウィッチ市を訪問、「友好都市提携 10 周年に関する合意書」に調印
21 年	区長、区議会議員団が「ネリマガーデン」茶室の完成式典に出席（友好都市提携 15 周年）
22 年	練馬区手工芸作家連盟がイプスウィッチ市自治体 150 周年に参加し、展覧会とワークショップ実施
23 年	・洪水により甚大な被害を受けたイプスウィッチ市に対し、区・区議会から義援金送付 ・イプスウィッチ市の小学生から東日本大震災のお見舞いメッセージ付きのぬり絵が届く
24 年	イプスウィッチ市長と友好訪問団が訪問、第 35 回練馬まつりに参加
26 年	・イプスウィッチ市長と友好訪問団が訪問 ・「友好都市提携 20 周年に関する合意書」に調印、石神井松の風文化公園での記念植樹を実施

（イプスウィッチ市 セントメアリーズカトリック教会）



市の中心部にある歴史的建造物

3 諸外国との交流

9 年 11 月に練馬区独立 50 周年、フランスにおける日本年などを記念し、フランス・ストラスブール市に桜を寄贈した。10 年 5 月には同市からマロニエの苗木 100 本が寄贈され、区画街路 3 号線と中村小学校に植樹するなどの交流歴がある。

21 年 4 月にはフランス・アヌシー市とアニメ産業交流協定を締結した。

また、30 年度は、モンゴルからの視察団を受け入れた。

4 海外友好都市等紹介事業

(1) 海外友好都市紹介講座

①旅したい！不思議大陸オーストラリア（30 年 8 月）

②お試し体験！太極拳（30 年 11 月）

(2) 海外友好都市パネル展

区と海淀区およびイプスウィッチ市の交流に

ついて、パネルや写真等による紹介展示を行った。(30年7月区役所アトリウム、30年11月ココネリ Coconeri 3階産業イベントコーナー)

- (3) 友好都市紹介ケースの常設展示
海外友好都市紹介の展示ケースを区役所アトリウムに常設している。
- (4) ハワリンバヤル (モンゴルの春まつり) 出展
30年5月4日から5日に光が丘公園で、区の国際・都市交流事業を紹介する展示を行った。

5 ホームステイ・ホームビジット

ホームステイなどの希望者を受け入れるホストファミリー (ボランティア) を随時募集している。30年度末現在ボランティア登録数は107世帯である。

6 外国語版区紹介冊子の作成

29年7月に、海外の都市に向けて区の特徴や施策などを紹介する外国語版区紹介冊子を作成した。



(外国語版区紹介冊子)

7 国内都市 (長野県上田市) との交流

昭和55年に長野県武石村 (現上田市) に武石少年自然の家を開設したことから交流が始まり、6年に「友好提携に関する合意書」の調印を行った。その後、18年の市町村合併により上田市となったことから、同年8月に改めて「友好提携に関する合意書」の調印を行った。

上田市とは、照姫まつりや練馬まつりで物産の展示・販売による交流を行っている。

30年の交流実績は、つぎのとおりである。

- (1) 上田市長が練馬区を表敬訪問 (30年9月)
- (2) 上田市長が練馬まつりを訪問 (30年10月)
- (3) 友好都市紹介講座「難攻不落! 上田城~堀跡に隠された秘密~」の開催 (31年1月)